

2024年度 北見麻高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕〔数学Ⅱ〕	2年	4単位	教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)	副教材等	3 TRIAL 数学Ⅱ (数研出版)	履修対象・ 使用教室 等	フロンティア (選択)・HR教室
教科・ 科目の 目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したとき、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		「節」ごとに実施します。計12回実施予定			50	50		
	授業態度・自主課題の提出		問題演習やレポート課題などの取り組み状況、3 TRIALの自主的な演習					100	
	確認テスト・レポート課題		適宜実施し、その都度、理解度をはかります。			50	50		
	〔観点別配分%〕		〔3観点の比重を%で示しています〕						
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎〕 知・技 思・判・表 態度	
4 5	第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式	24	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎
6 7	第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	24	第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎
8 9	第3章 図形と方程式	20	第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎
10 11	第4章 三角関数	23	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎
12 1	第5章 指数関数と対数関数	21	第5章 指数関数と対数関数			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎
2 3	第6章 微分法と積分法	28	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法 第2節 積分法			単元テスト 授業態度・自主課題の提出 確認テスト・レポート課題	◎ ◎	◎ ○	 ◎

学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅱの基礎基本の定着を徹底します。 →基礎基本の定着（知識・技能）なくしては、応用問題や入試問題（思考力・判断力・表現力）に対応できない。ゆえに、教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・進学希望者は3 TRIALの積極的な取り組みや平日講習である「数学演習F」や土曜日講習である「数学演習B」に積極的に参加し、実践演習を積むことを強く勧めます。 ・数学は積み重ねの教科です。家庭学習の習慣が必須となります。授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。
--------------	--